

事務事業評価シート（１／２）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2次評価

所属 0001501010 水道業務課経営係

事務事業 03095 水道維持管理事業

所属長名 鈴木 貴博

担当者 徳田 晴美

電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	061	水道維持管理事業			
事業期間	昭和34年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	水道事業	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	水道法、水道法施行規則、給水条例、給水条例施行規則、地方財政法				
備考	平成31年度より水道業務課と水道工務課の事業を統合しました。				

【事業分析】

対象	水道利用者が
目的	安全・安心な水道サービスを継続して受けることができます。
手段	水道施設の計画的な点検及び維持管理を行い、その機能を保持するとともに、水道料金を収納します。
事務内容	水道料金賦課事務、水道料金収納管理事務、水道開閉栓事務、量水器取替事業、配水管維持管理事業、浄配水場施設運転保守管理事業、浄配水場水質検査等事務、資金等調整管理事務、広報事業、消費税申告事務、貯蔵品管理事務、水道事業会計出資事務など

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト		2,871,079	2,949,910	3,240,230
事業費	事業費	2,693,428	2,758,055	3,058,800
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	2,693,428	2,758,055	3,058,800
	一般財源	0	0	0
	人件費計	176,400	189,000	178,200
	正規（人）	28.00	30.00	27.00
その他経費		1,251	2,855	3,230

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	・浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査 ・漏水等修理、調査作業 1772件 ・料金滞納者訪問 1152件、料金未納者給水停止 244件、水道メーター検針 395,800件	・浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査 ・漏水等修理、調査作業 ・料金滞納者訪問840件、料金未納者給水停止207件、水道メーター検針401,400件	・浄水場施設運転監視、配水量管理、水質検査 ・漏水等修理、調査作業 ・料金滞納者訪問予定1000件、料金未納者給水停止予定240件、水道メーター検針予定409,500件

事務事業評価シート（2 / 2）

2 頁
令和 3 年 8 月 18 日
14 時 37 分 21 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03095 水道維持管理事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
経常収支比率	%	112.62 116.91	112.62 116.60	112.62 0.00
料金回収率	%	104.84 112.60	104.84 99.73	104.84 0.00
自己保有水源率	%	25.90 28.24	25.90 28.28	25.90 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	水道事業は水道法に基づき行っており、市が行うサービスです。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1
理由	水道はライフラインであるため必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	2
理由	コロナ対策で基本料金免除を実施したためです。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
理由	安定的に水道水を提供することができました。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1
理由	他自治体の水道事業も同様に行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400文字)	定期的な維持管理、迅速な漏水対応が必要とされますので、規模に対応した直営対応、民間委託による体制を確立しています。今後も継続的に配水管の維持管理に取り組んでいく必要があります。 ・浄配水場の安全性を維持するため、施設の点検を効果的かつタイムリーに実施しています。また、設備の保守管理は定期点検の結果を受け予防保全に取り組んでいく必要があります。 ・滞納者に係る給水停止においては、訪問などの事前交渉を丁寧に取り組んでいく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1 / 2）

評価年度 令和 2年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001501010 水道業務課経営係

事務事業 03096 水道建設改良事業

所属長名 鈴木 貴博

担当者 徳田 晴美

電話番号 0566-71-2249

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 Kの分類	002	環境			
項目（施策）	002	4 都市基盤（住環境）			
施策の方針	003	良好な水環境の実現			
事務事業	062	水道建設改良事業			
事業期間	昭和30年度 ～				
実施方法	一部委託				
会計区分	水道事業	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト	○	地方創生	
根拠法令等	水道法、水道法施行細則、給水条例、水道施設等維持管理指導要領、大規模地震対策特別措置法				
備考	平成 3 1 年度より水道業務課と水道工務課の事業を統合しました。				

【事業分析】

対象	水道利用者が
目的	老朽管の布設替えや、水道施設の耐震化を行うことにより安定した水の供給を図ります。
手段	老朽管を耐震管に布設替えすることで、漏水事故を減らすとともに、災害時の断水被害の軽減を図ります。水道施設の耐震化を行い、地震に強く信頼性の高い整備に努めます。
事務内容	区画整理区域内配水管布設事業、地震防災施設緊急整備事業、水量不足地域配水管布設事業、給水装置設置等申請審査事業、専用水道事業、他事業に関連する配水管布設替事業、老朽管布設替事業 など

【コスト】

（単位：千円）

		平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
		決算額	決算額	予算額
トータルコスト	事業費	1,836,211	1,793,254	1,838,888
	国庫支出金	27,000	65,100	59,600
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	1,727,311	1,633,654	1,685,000
	一般財源	0	0	0
	人件費計	81,900	94,500	92,400
	正規（人）	13.00	15.00	14.00
その他経費		0	0	1,888

	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
【事務事業活動実績】	・老朽管布設替工事 ・重要管路整備工事 ・区画整理地内配水管布設工事 ・水量不足配水管布設工事 ・他事業関連配水管布設替工事 ・配水支管延長工事	・老朽管布設替工事 ・重要管路整備工事 ・区画整理地内配水管布設工事 ・水量不足配水管布設工事 ・他事業関連配水管布設替工事 ・配水支管延長工事	・老朽管布設替工事 ・重要管路整備工事 ・区画整理地内配水管布設工事 ・水量不足配水管布設工事 ・他事業関連配水管布設替工事 ・配水支管延長工事

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁

令和 3 年 8 月 18 日
14 時 37 分 21 秒

評価年度 令和 2 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001501010 水道業務課経営係
事務事業 03096 水道建設改良事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
管路の耐震管率	%	34.20	35.40	36.70
		34.20	35.60	0.00
管路の更新率	%	1.00	1.00	1.00
		0.95	1.29	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1
2	理由	市が行うサービスです。	1
3	必要性	市民ニーズの有無	1
4	理由	水道はライフラインであるため必要です。	1
5	有効性	目標に対する進捗状況	1
6	理由	水道施設の耐震化、老朽管の布設替えを予定どおり実施しました。	1
7	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1
8	理由	新水道ビジョンに基づき計画的に事業を進めています。	1
9	公平性	事業規模・サービス水準	1
10	理由	他自治体の水道事業も同様に行っています。	1

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	・災害に強いライフラインにするため、水道施設の耐震化を行っています。 ・老朽管を耐震管に布設替えすることで、漏水事故を減らすとともに、災害時の断水被害の軽減を図ります。 ・安全な水道水の供給を行うため、給水申込書の審査を行っています。 ・水の安定供給を図るため、計画的な施設及び管路の耐震化や更新を今後も取り組んでいく必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。